

校
報



水 緒

「知徳の方向 あやまらず 進め」

第 1381号
(令和3年度 第16号)
洋野町立種市小学校
令和3年7月21日
児童数 239名

<有意義で
楽しい夏休みに>

始業式は

8月18日(水)

「自分達で考え行動する」でよいよい学校に さらに“この先”へ

まだまだ、コロナウイルスの心配がなくなりませんが、今年は、1学期に運動会を行うことができました。全校朝会も行ってきました（思い出すと昨年度の1学期は全校朝会は放送でした）。先生方は、感染を心配しながらも子ども達にとって大切だと思う活動をなんとか行えないかと苦労や工夫をして行ってきました。子ども達もそれに協力してここまで進んできました。終業式で1学期を振り返りました。

始業式では、「自分達で考え行動することができるようになろう」と話しました。

1年生は、手をあげて、車が止まったのを自分で確かめて横断しています。自分で考えて行動しています。

2年生は、自分達で生活科探検に出かけました。迷っても先生を頼らずに自分達で相談していました。

3年生は、縦割り掃除をしても学童に行っても、周りのみんなのことを考えてくれると評判です。

4年生は、運動会のソーランで三年生をリードしたのはさすが上級生だと思いました。

5年生は、林業や海の仕事の見学を行い、働く人の願いや思いに触れることができました。

6年生は、運動会、そして、児童会の活動で、全校をリードしようとがんばりました。

「自分達で考えたり行動したりすること」は大変かもしれません。でも、そのことで力もつきますし、楽しいことでもあります。学校もよりよい方に進んできました。特にあいさつは、よくなりました。『あいさつボランティア』に加わった人もいました。このような取り組みで確かに挨拶が変わったのです。みなさん一人一人が動くことで、こうして、みなさんの生活がよくなり、学校もよりよくなっていくのです。

では、これらのよいことは、もっと広げることはいできないでしょうか。まだ足りないものはないのでしょうか。

例えば、ものを大事にしなかったり、少しくらいはいいと思ってルールを破ったり、気分にかけてやるべきことをやらなかったり、・・・。

また、わがままを言って友達に我慢をさせたことはありませんか。

それから、注意した方がよいとわかっていてもできなかったことはありませんか。逆に注意の言葉がきつすぎて傷つけてしまったことはないでしょうか。

まだ、直したり、よしたり、できそうなことはありませんか。

がんばった1学期ですが、まだ、“この先”がありそうです。2学期にも、ますます自分で考え行動すること、自分達の生活をそして学校をよりよくすることをがんばっていきたいです。

明日からは夏休みです。2学期もたくさんのよいことがあるように、安全に気をつけてくらしましょう。2学期の始業式の日もまた、元気な声であいさつしながら登校してくるみなさんを待っています。

「この先はありますか」は、運動会の予行練習のときに、まとめのお話で使ったことばでした。がんばって力を結集した運動会予行でしたが、「この先はありますか」の問いかけに、さらに「前に進む」を実行してくれた子ども達でした。同じように、よくがんばった1学期。でも、まだまだ課題があることも事実です。さらに前に進みたいです。きっと「この先」に進んでくれると思っています。

もしも

夏休みの生活 健康と安全が第一

「今日からゲームは〇〇にしよう」 となったら

※ 〇〇には「禁止にしよう」とか
「1時間以内にしよう」などが入ります。

1学期が終わります。大きな混乱もなく終わることができ、これまでのご協力に感謝申し上げます。明日からの夏休み、子ども達は家庭や地域で暮らすわけですが、健康と安全が第一と考えます。

健康は

熱中症やコロナなどの病気も心配です。さらには、生活の乱れも心配です。

家庭学習週間では、ゲーム機やSNS機器の使用について家庭内でのきまりを守っている子が多かったですが、長い夏休みにも、自分の気持ちをコントロールして節度ある生活ができるようにしたいものです。

例えばですが、もし、何かの理由で「今日からゲームは〇〇にしよう」とおうちの人が出たとしたら子ども達はどんな反応をするだろうかと考えました。もしも、素直に言うことを聞いてくれないで、ダダをこねたり、ものにやつ当たりしたりするようであれば心配です。

われわれ大人は、子どもは小さくてかわいいので「いつでも言うことを聞かせる」とか漠然と「まだ今のうち」と思いがちですが、本当にそうか気をつけていなければなりません。そこまでの危険性を考えて物を与えなければいけません。

自由な時間が多くなります。ルールを確認して、生活が乱れることから子ども達を守ってあげられるようにしていきたいです。

安全は

安全についても心配です。1学期中も、事故やケガがありました。現代の子ども達の生活は、大人の目が行き届いているところではかなりの安全が保たれています。そうやって大事に育てられ、安全が当たり前前に感じられていても、その安全は自分で気をつけて手に入れたものではなく周りの大人が整えてくれた場合が多いので、危ない場面に出会っても危ないと感じたり避けたりすることが苦手です。大人から見れば「なんでこんなことを」

とか「考えれば分かるだろうに」と思うことも起こしてしまいます。また、子どもは「たいした大きなことにならないだろう」という甘さもあります。安全については、とても幼く、考えが足りないのが現代の子どもと言われていきます。

毎回お願いすることですが、毎朝・毎回、何回も、「気をつけて行きなさい」や「〇〇はしてはいけません」の声かけを繰り返しお願いしたいです。子どもを信用する・しないの問題ではなく、子どもが大事で心配だから行うものです。よろしくお願いします。

みんなで 見守っていききたいです

地域の目が子ども達に向けられているのが種市のありがたいところだと思っています。自分の子もよそのうちの子も、見守っていききたいです。危なければ同じように叱っていききたいです。よその子もほっておけないです。

また、叱ってもらったらお礼を言いたいです。例え間違いで叱られたとしても、次に本当に危ないことをするかもしれないので「また次も叱ってください。」と言えるようでありたいです。

<お願い>

子ども会等で集まる機会があったら、「これまで危ないことをしていた人はいませんでしたか。」と聞いていただきたいのです。そして、「〇〇ちゃんが△△していました。」という事があったら注意していただきたいのです。小さなことからでも注意していくことが子ども達の危ない行動へのブレーキになります。